美祢高通信　No. 100

７２年間の御支援に感謝！

H26. 9. 1
山口県立美祢高等学校

◇校長より

今年の夏休みは最初の十日間は夏の日差しが照りつけたものの、その後は梅雨のような状態が続き、活動としては不完全燃焼の生徒もいたことと思います。その天候不順の中で、広島と岩国で、大きな豪雨災害が起こりました。両地域とも私の縁がある場所で、とても心配していましたが、犠牲となられた方が多くおられ、特に広島は大災害という状況です。御冥福をお祈りするとともに、少しでも早い復旧を願っております。実は昨年のこの時期の通信にも、山口県北部の豪雨災害について書かせていただきました。この気象では、いつ、どこで、どのような災害が発生するかわかりません。７月の防災訓練時に、自分が今いる場所での災害時対応のシミュレーションを繰り返すことが大切であると生徒に伝えました。生徒達は卒業後、様々な場所で活動することになります。自分の命を守るためにその場所にあった適切な防災意識を持ってほしいと考えています。さて、進路決定の時期となってきました。生徒の希望がほぼ定まってきて、本校の長所である少人数指導を生かした面接指導、小論文指導等も進めています。しかし、進路指導については、服装・言葉指導等もあり、御家庭の御協力が必要となります。ぜひよろしくお願いします。

◇第 59 回全国軟式野球大会山口県予選（７月２６日）

美祢高校野球部にとり最後の公式戦となる第 59 回全国軟式野球大会山口県予選が、ビジコム柳井スタジアムを会場に開催されました。田部高校との合同チームで臨んだ一回戦誠英高校との試合は、惜しくも５－１５、６回コールド負けとなりました。最後の部員となった石川君と徳重君は、部員数の減少・他校へ出向いての練習という環境のもとにありながら、顧問の先生の厳しくも温かい指導と田部高校さんの配慮により充実した活動を行うことができました。

◇同窓会総会（８月１０日）

秋芳ロイヤルホテルで同窓会総会が開かれ、昨年を上回る１００名の参加がありました。卒業生榎和子さんの「ふるさとに支えられて」と題した感銘深い講演後、会場のあちこちで恩師を囲んでの談笑、久しぶりに会った同期生との楽しい交歓の輪が広がっていました。

◇夏季休業中体験活動（７月～８月）

今年も「秋芳の里」での体験活動を行いました。ＪＲＣ部が夏の花を植えたプランターを寄贈し、夏季休業中生徒全員で施設の花壇と合わせて水遣り・草取りを行いました。また、入所者の方の話し相手となり、貴重な経験談や苦労話、美祢高校にまつわる話などを聞き、生き方や進路について改めて考える契機となりました。

◇吹奏楽コンクール（８月１日）

今年度の吹奏楽コンクールは岩国市のシンフォニア岩国で開催されました。本校吹奏楽部は美祢青嶺高校との合同楽団としてＢ部門に出演し「ラプソディックエピソード」を演奏しました。伝統ある吹奏楽部の最後の部員となった木戸君・原田君・平田君は、両校舎が離れているため日頃はパート練習、本番前に美祢青嶺に赴き合奏という変則的な活動を、顧問の先生の励ましと美祢青嶺高校の仲間たちに支えられやり切ることができました。

◇ 秋 吉 台 学

秋吉台学は、中高一貫教育の取組として、ふるさと秋吉台の豊かな自然を歴史・文化などの観点から学び、その価値を再確認する美祢高独自の学校設定科目です。一学期の活動の一端を紹介します。

◇生徒指導係より

早いもので２学期が始まり、いよいよ自分の進路を決定する、人生の中でも大きな岐路を迎えることとなりました。**今学期は「自立」を目標とする学期**です。自らの力で、将来の進路を決定させるとともに、社会人になるにあたり、自らの課題等を見つけ解決する力を養っていくなど、「自ら」が一つのｷｰﾜｰﾄﾞです。

さて、学校における生徒指導は、健全な成長と自己指導能力の育成を目指すことを目的としていますが、自己指導能力というのが、前述したｷｰﾜｰﾄﾞの「自ら」にあたります。これまでの多くの先生方からの指導や頭髪服装検査等は、自分の将来に向けて必要な課題を見つけ、自分で解決する力を養っていくためのものです。**指導に従えというのではなく、参考にし、自分にとって必要なことを、自らが考えて取り入れ、自分自身をｺﾝﾄﾛｰﾙしていく時期にさしかかっている**ということです。

「自立」⊂　自己指導能力を確立させる学期にすることを期待します。

◇９月行事予定

９月	１日(月)	始業式、頭髪服装検査 大掃除
	８日(月)	二学期課外開始
	８日(月)・９日(火)	個人面談
	１５日(祝)	敬老の日
	１６日(火)	就職試験開始
	２０日(土)	マーク模試
	２２日(月) ～２６日(金)	公開授業週間
	２３日(祝)	秋分の日